

ジャガイモの 土中越冬保存試験

2013年 11月 21日

オホーツク 高橋農場

農作物を一冬越させると味が更に良くなる事が知られている。しかし、農家の多くでは、保存施設がないため収穫物の多くは即日に出荷する事になる。費用を掛けずに越冬保存できればと思い試験を行う。

同地域で、永年種芋を10t近く土中越冬保存している農家があった。残念ながら今年限りで離農されましたが、その越冬方法について当事者に教えを乞い、自分の出来る方法で試験を設定しました。



深さ30cm
幅1m程の穴を
必要な長さ掘る。
(穴の中に消石灰を
少し振っておく)
試験では、未使用。



芋をそのまま入れる。
試験として
ネットに入れる。



芋の上にネットを
掛ける。(上に乗せた
ワラを取り易い様に)
ムシロを芋に掛けた



麦ワラを乗せる。
ロール1個で芋10t分。
アスパラの殻を乗せた。



ワラの上に土を掛ける。



土の高さは40cm位。
盛り上げる
土がしばれる頃、通気筒
を付ける。
ワラを太さ10cm程
に束ね長さ1m位。
3m毎に土の下のワラ
に届く様に山に刺す。